

# 令和4年度

## 福島県 特別支援教育センター

Fukushima Prefectural special needs education center



〒963-8041

福島県郡山市富田町字上ノ台 4-1

TEL (024)952-6497 FAX (024)952-6599

相談専用 TEL (024)951-5598

MAIL special-center@fcs.ed.jp



～「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進します～

研修

教育相談

学校・地域支援

研究

図書

Webサイト

### <交通案内図>



#### \* 利用できるバス \*

◇福島交通 郡山駅前発

⑤・⑧番ポール

【バス停「百合ヶ丘団地」下車 徒歩5分】

⑤市営テニスコート経由百合ヶ丘行き

⑧下富田経由百合ヶ丘行き

【バス停「コパル前」または「郡山インター前」下車 徒歩5分】

⑧玉川経由熱海温泉行き

⑧向原経由郡山西部工業団地行き

⑧郡山郵便局経由郡山西部工業団地行き

◇高速バス

○いわき→郡山行き

○会津若松→郡山行き

※バス停「コパル前」で下車徒歩5分

#### \* 自家用車の場合 \*

○東北自動車道 郡山ICから3分

# ～障がいのある子どもたちが 「地域で共に学び 共に生きる教育」を推進するために～

## 学校・地域支援

学校・地域等のニーズや状況に応じた支援を実施し、  
地域の特別支援教育の充実を推進する活動

### 内容

- 幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、放課後児童クラブ等への支援
  - ・学校等のニーズに応じた支援を、研修会やケース検討会等を通して行います。
- 地域における支援体制づくりへの支援
  - ・地域の関係機関(医療・保健・福祉・教育・労働等)と連携しながら、支援のためのネットワークを作り、継続的・総合的に支援できる体制を整えます。
  - ・地域における「相談支援ファイル」や「個別の教育支援計画」等の作成と積極的な活用を支援します。



**地域や学校の取組を支援します！**

## 図書

どなたでも  
ご利用いただけます！

### 図書の閲覧・貸し出し

特別支援教育に関する書籍や雑誌を用意しております。

- 図書室開室日 祝祭日を除く月～金曜日 9:00～17:00
- 貸出方法 直接来所の上、申し込みをしてください。
- 返却方法 持参または郵送にて返却してください。

※新着図書はHPでも紹介します。ご覧ください。



## Webサイト

**特別支援教育センターWebサイトをご覧ください。**

- ・研修講座案内
- ・刊行物、データベース等
- ・最新の特別支援教育の動向

特別支援教育の情報満載！

- ・コーディネートハンドブック(2022年度版)

☆「短時間」「すぐ使える情報」「具体的な知識と実践」をポイントに作成しています。

☆タイトルをクリックするだけで必要な情報が手に入ります。

※「障害のある子供の教育支援の手引」に基づきリニューアル！ ダウンロードも可能！

- ・教材・支援機器ポータル

☆障がい種/診断名、学校・学級、教科などにより教材や使い方を検索できます。

Webサイトは  
こちらから

URL <https://special-center.fcs.ed.jp/>



相談者の思いや願いに寄り添い、  
健やかな成長を促す教育相談

☆相談の**秘密は厳守**します。  
☆相談費用は**無料**です。

## 内容

障がい等で生育に心配のある乳幼児、児童生徒についての相談

- 家庭での養育等に関する事
- 幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、放課後児童クラブ等での生活や学習に関する事
- 就学や進路等に関する事
- 関係機関との連携に関する事 等



## 【申し込み】

(月曜日～金曜日 9:00～17:00)

相談専用 024-951-5598

## 来所による相談時間

□火曜日～金曜日

- ① 9:00～12:00 ※ この時間帯の中で60分
- ② 13:30～14:30
- ③ 15:30～16:30

事前に予約をお願いします。



## 相談に関するQ&A

Q1: どのような人が相談できるのですか？

A: 子どもの養育・教育に関係する方々であれば、どなたでも大丈夫です。**保護者、教員、支援員等**の方々も相談することができます。

Q2: 特別支援教育センターで、障がい等の診断はできますか？

A: 医療機関ではありませんので、**診断はできません**。

Q3: 他の機関と連携していますか？

A: 同じ建物内にある**総合療育センター、発達障がい者支援センター**をはじめ、保健・福祉の様々な機関や県内の**市町村教育委員会・各教育事務所・特別支援学校**とも保護者の同意のもと連携をしています。

Q4: 新型コロナウイルス感染症への対策は？

A: ①**マスク着用**での相談 ②**飛沫拡大防止パネルの設置** ③相談終了後、**相談室及び玩具の消毒、換気**などの対策を実施しております。

## プロジェクト研究・教育研究（令和4年度）

- 児童生徒一人一人の資質・能力を育む交流及び共同学習  
～小・中学校の通常の学級と特別支援学級における実践研究～
- 特別支援学校におけるICTの効果的な活用の在り方  
～情報活用能力の育成を踏まえた各教科等の指導の充実～

本県のインクルーシブ教育システムの推進に向けて、さまざまな研究を行っています。



# 研修

「令和4年度福島県公立学校教職員現職教育計画」に基づき、特別支援学校、小・中学校、高等学校等の先生方に対して教員研修を行います。

## 基本研修(10講座)

- 特別支援学校初任者研修(6講座)
- 特別支援学校2年次教員フォローアップ研修(1講座)
- 特別支援学校5年経験者研修(1講座)
- 特別支援学校中堅教諭等資質向上研修(2講座)



R3 初任者研修  
講義「児童生徒の理解」

## 職能研修(8講座)

- 特別支援学級等新任担当教員研修会(小・中)
- 特別支援学級担当教員(経験三年)研修会(小・中)
- 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 特別支援学校訪問教育・医療的ケア担当教員研修会
- 特別支援学校教務主任・学部主事研修会
- 通級指導教室担当教員研修会(小・中・高)

## 専門研修(16講座)

各講座の詳細については、特別支援教育センターのWebサイトでご確認ください。



R3「自立活動の指導の充実～学習指導要領を踏まえて～」  
演習「児童生徒の実態把握と課題の整理」



R3「特別支援学校における重度・重複障がいのある児童生徒の理解と授業づくり」  
協議「重度・重複障がいのある児童生徒のかかわりを考える」



R3「発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応」  
協議「特別な支援を必要とする子どもの支援策を探る」

## 公開講座(7講座)

| NO | 実施日   | 講座名                                 | 講師  |
|----|-------|-------------------------------------|---|
| 1  | 7月 5日 | 診断を受けた子どもたちのその後について考える<br>～医師の立場から～ | 福島県発達障がい者支援センター<br>科部長 伊瀬 陽子 氏                              |
| 2  | 7月 7日 | 重度・重複障がいのある児童生徒の理解と授業づくり            | 福岡大学 人文学部 教育・臨床心理学科<br>教授 徳永 豊 氏                            |
| 3  | 7月12日 | 通級による指導を担当する先生に期待すること               | 九州ルーテル学院大学 人文学部<br>心理臨床学科<br>准教授 増本 利信 氏                    |
| 4  | 8月17日 | 発達障がいのある生徒の充実した現在と豊かな未来のために         | 国立特別支援教育総合研究所<br>発達障害教育推進センター<br>上席総括研究員(兼)センター長<br>笹森 洋樹 氏 |
| 5  | 8月26日 | 特別支援教育における学びの充実のためのICT活用            | 帝京大学 教育学部 初等教育学科<br>教授 金森 克浩 氏                              |
| 6  | 9月15日 | カリキュラム・マネジメントを踏まえた授業づくりの在り方         | 東京都立光明学園<br>統括校長 田村 康二郎 氏                                   |
| 7  | 9月28日 | ペアレントトレーニングから学ぶ幼児児童生徒支援と保護者支援       | 福島県立医科大学<br>看護学部小児・精神看護学部門<br>講師 佐藤 利憲 氏                    |